

レジメン名 (治療名)					
TAS102+BEV					
癌腫	レジメン (略語)	実施区分	抗がん剤適応区分		
大腸癌	TAS102+BEV	<input checked="" type="checkbox"/> 入院 <input checked="" type="checkbox"/> 外来	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法	<input type="checkbox"/> 大量化学療法 <input type="checkbox"/> 局所化学療法 <input type="checkbox"/> その他	
投与順	抗がん剤名 (商品名・略称)	1日投与量	投与経路	投与時間	投与日 (day1、8等)
1	ベバシズマブ【BEV】	5mg/kg	点滴静注	初回 90分 2回目 60分 3回目以降 30分	Day1、15
2	トリフルリジン・チピ ラシル【TAS102】	70mg/m <sup>2</sup>	内服	1日2回朝夕食後	Day2-6、Day9-13
1コースの期間 (次コースまでの標準期間)		4週間			
総コース数及び総投与量の限界		PDまで			
プレメディケーション ポストメディケーション		原則なし。 TAS102による吐気が出現次第、随時対処療法を行う。			
備考		制吐剤は原則なし。症状に応じて随時追加。 対象患者は ・糖尿病、高血圧の症状コントロールがなされている。 ・オキサリプラチン、イリノテカン、フルオロウラシル、抗VEGFR薬、抗EGFR薬に耐性のある2次治療以降に使用する。 副作用によりベバシズマブのみ中止する場合は、TAS102単剤で治療を継続する。 副作用によりTAS102を中止する場合は、ベバシズマブの投与も中止する。ベバシズマブ単剤の施行は行わない。 TAS102の投与が延期される場合は、ベバシズマブの投与も延期すること。			

《投与順》

Day1、15

(1) 生理食塩液 50mL 5分

(2) 生理食塩液 100mL

ベバシズマブ 5mg/kg 90分

\* 忍容性を認めた場合は2回目60分、3回目以降30分へ短縮可

(3) 生理食塩液 50mL 5分

Day2-6、Day9-13

TAS102 1回 35mg/m<sup>2</sup> 1日2回朝夕食後